

# 平成25年(2013年)3月期 第2四半期累計期間 決算発表

2012年10月25日

 日立建機株式会社



ロンドンパラリンピック、自転車競技(ロードタイムトライアル(MC3))にて  
銅メダルを獲得した技術開発センタ所属の藤田征樹 選手(写真右)  
ご声援ありがとうございました。

- 売上高は中国が大幅に減少なるも、マイニング機械売上が増加したことにより、前年比3%増収
- 営業利益はマイニング機械及び部品・サービス売上の増加等により前年比2%増益
- 当期純利益はTCM株式売却による約99億円の特別利益を計上し、194%の増益

(単位:億円)

		12年 第2Q累計	11年 第2Q累計	前年 増減率
売上高		(3,900) 3,769	3,649	3%
営業利益		(230) 209	204	2%
経常利益		(165) 137	178	△23%
当期純利益		(185) 161	55	194%
為替	アメリカドル	79.48	79.50	/
	ユーロ	100.96	113.99	
	中国元	12.59	12.41	
1株当り配当金		20円	15円	5円

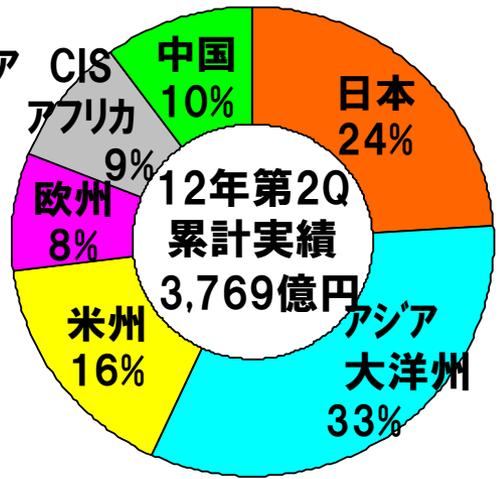
注. ( )内は12年7月対外発表値

(単位:億円)

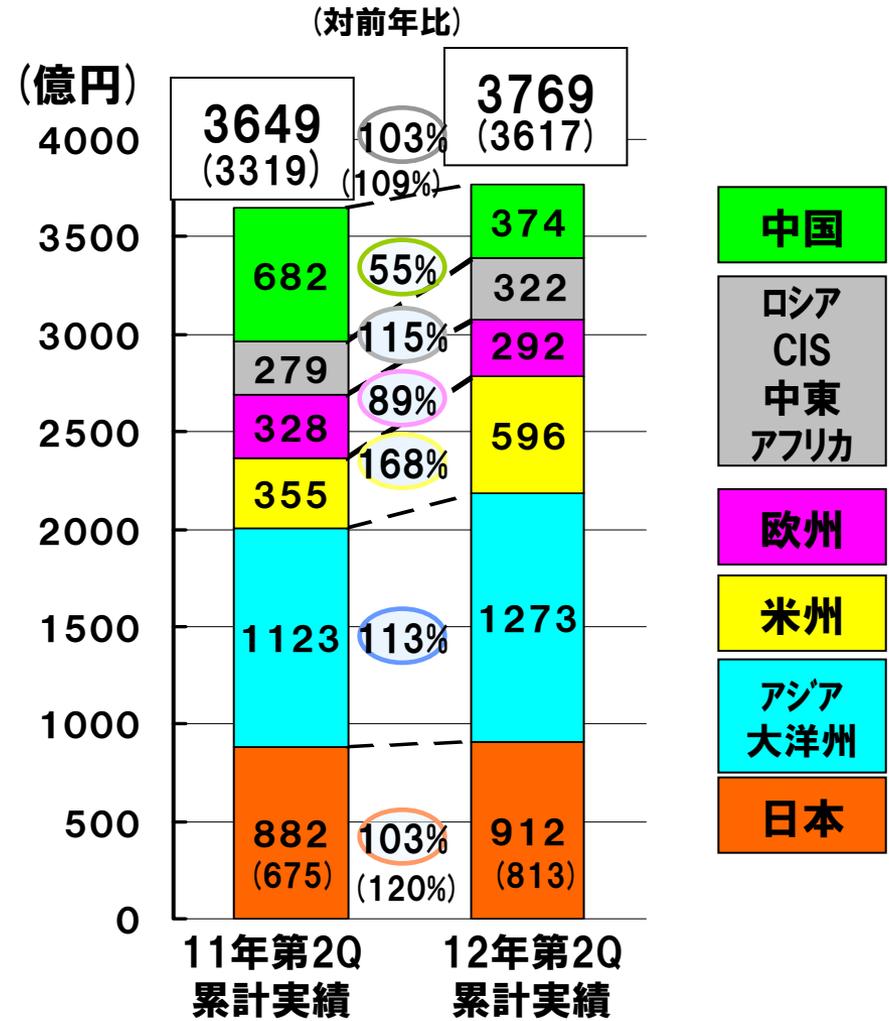
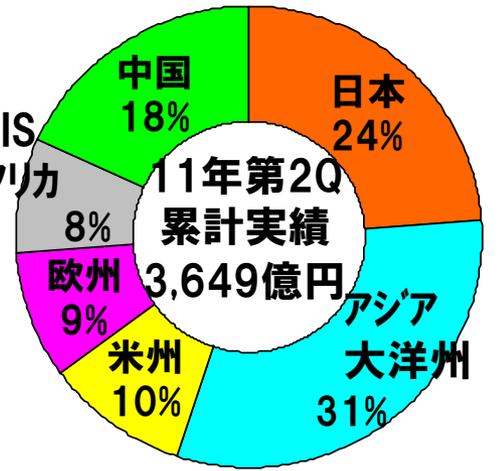
	12年 第2Q累計	11年 第2Q累計	前年同期比	
			金額	%
売上高	3,769	3,649	120	3%
売上原価	2,795	2,686	109	4%
販売費・管理費	764	759	5	1%
営業利益	209	204	5	2%
営業外損益	△72	△26	△46	177%
経常利益	137	178	△41	△23%
特別損益	86	△5	91	-
法人税等	39	82	△43	△52%
少数株主損益	△23	△37	14	△37%
四半期純利益	161	55	106	194%

- 中国の落ち込みをアジア大洋州、米州及び日本の増加でカバー
- TCMグループを除外した場合11/2Q:3,319億円→12/2Q:3,617億円で9%の増収

海外売上高  
比率 76%



海外売上高  
比率 76%



(注) % は対前年度伸び率、( ) はTCM影響を除く数値

(単位:億円)

	12年 第2Q累計	11年 第2Q累計	前年同期比	
			金額	%
売上高	3,769	3,649	120	3%
売上原価	(74.2%) 2,795	(73.6%) 2,686	109	4%
販売費・管理費	(20.3%) 764	(20.8%) 759	5	1%
営業利益	(5.6%) 209	(5.6%) 204	5	2%
営業外損益	△72	△26	△46	177%
経常利益	137	178	△41	△23%
特別損益	86	△5	91	-
法人税等	39	82	△43	△52%
少数株主損益	△23	△37	14	△37%
四半期純利益	161	55	106	194%

- 金融収支は中国での販売ファイナンスのボリューム減少により悪化
- 為替差損益はユーロ及びインドルピー、南アランドを始めとする新興国通貨に対する円高により悪化

(単位:億円)

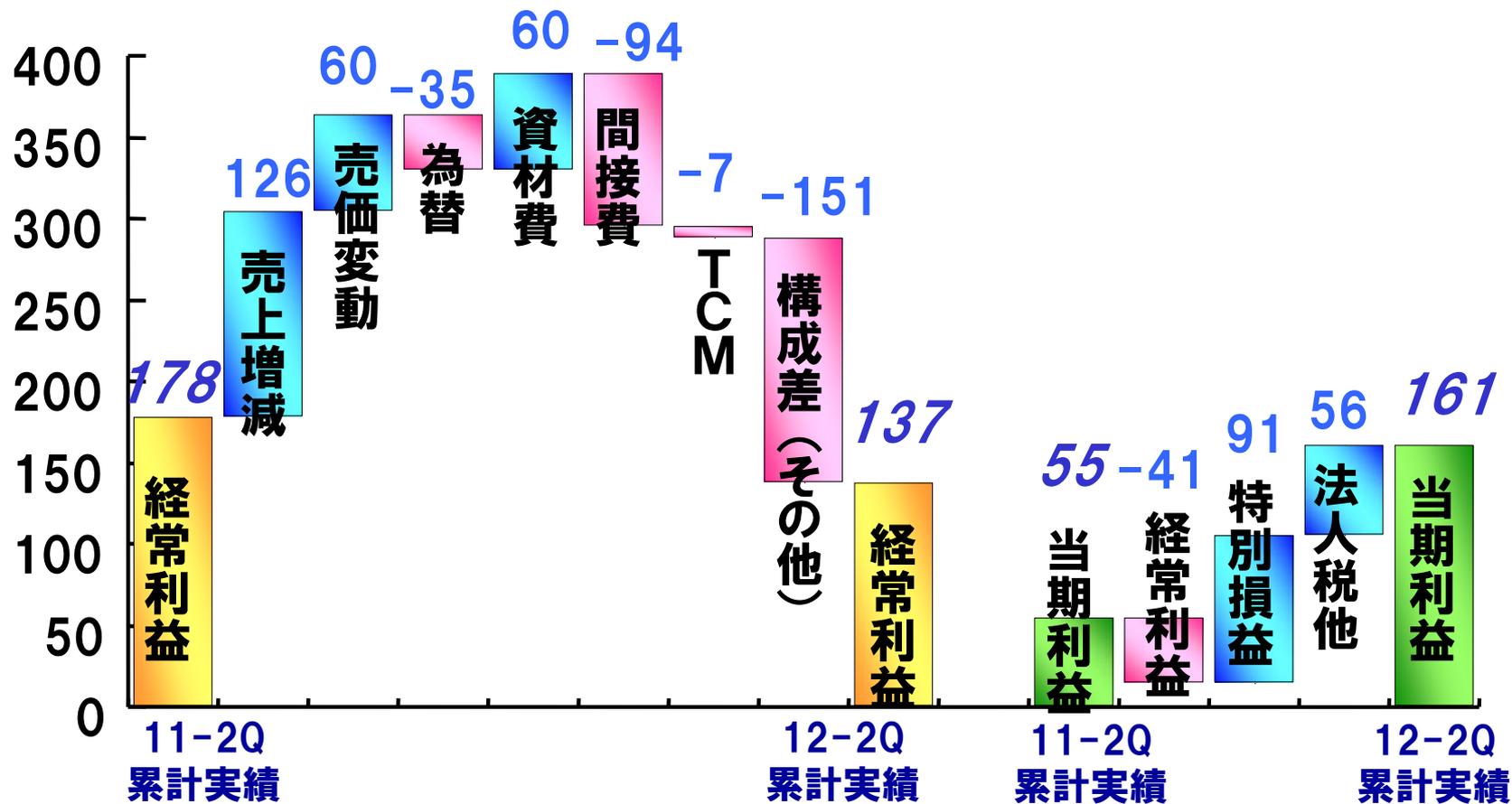
	12年 第2Q累計	11年 第2Q累計	増減
金融収支	△46	△35	△11
持分法による投資損益	△1	1	△2
為替差損益	△24	△12	△12
その他	△1	20	△21
計	△72	△26	△46

(単位:億円)

	12年 第2Q累計	11年 第2Q累計	前年同期比	
			金額	%
売上高	3,769	3,649	120	3%
売上原価	(74.2%) 2,795	(73.6%) 2,686	109	4%
販売費・管理費	(20.3%) 764	(20.8%) 759	5	1%
営業利益	(5.6%) 209	(5.6%) 204	5	2%
営業外損益	△72	△26	△46	177%
経常利益	(3.6%) 137	(4.9%) 178	△41	△23%
特別損益	86	△5	91	-
法人税等	39	82	△43	△52%
少数株主損益	△23	△37	14	△37%
四半期純利益	(4.3%) 161	(1.5%) 55	106	194%

- 売上高が増えたことにより、売上(物量)の増加により126億円の増加要因
- 但し、中国向けの構成が減少したことにより、構成差が大幅マイナス

(億円)



- 売掛債権(受手・売掛金及びリース債権・投資資産計)は手持日数39日、851億円の減少
- たな卸資産は手持日数5日、152億円の増加

(単位:億円)

	(A) 12年第2Q	(B) 11年度	(C) 11年第2Q	(A-B) 増減
現金及び預金	482	728	549	△246
受手・売掛金	1,744	2,385	1,665	△641
リース債権・投資資産	993	1,203	1,192	△210
たな卸資産	2,841	2,689	2,438	152
その他	623	518	551	105
流動資産計	6,683	7,523	6,395	△840
有形固定資産	2,429	2,449	2,247	△20
無形固定資産	348	408	429	△60
投資その他	577	482	452	95
固定資産計	3,353	3,338	3,127	15
資産合計	10,036	10,861	9,522	△825

	(D) 12年第2Q	(E) 11年度	(F) 11年第2Q	(D-E) 増減
支手・買掛金	1,622	1,929	1,610	△307
その他	2,878	3,272	2,340	△394
流動負債計	4,500	5,201	3,950	△701
固定負債計	1,824	1,973	2,173	△149
負債合計	6,324	7,173	6,123	△849
少数株主持分	443	454	417	△11
資本金・剰余金	3,627	3,498	3,354	129
その他	△358	△264	△371	△94
(自己資本比率)	(32.5%)	(29.7%)	(31.2%)	(2.8%)
純資産合計	3,712	3,688	3,400	24
負債・純資産合計	10,036	10,861	9,522	△825

手持日数(分母は、売上高) (単位:日)

	(A)	(B)	(C)	(A-B)
受手・売掛金	121	160	132	△39
たな卸資産	125	120	112	5
支手・買掛金	71	86	69	△15
正味運転資金	175	194	175	△19

注) 「受手・売掛金」手持日数は、「リース債権・投資資産」を含めて計算している。

	(D)	(E)	(F)	(D-E)
有利子負債計	(35.0%) 3,513	(35.8%) 3,889	(35.2%) 3,356	(△0.8%) △376
現預金・預け金	636	812	563	△176
(預け金)	(154)	(84)	(14)	(70)
ネット有利子負債	(28.7%) 2,877	(28.3%) 3,077	(29.3%) 2,794	(0.4%) △200

ネット D / E レシオ	(D)	(E)	(F)	(D-E)
	0.88	0.95	0.94	△0.07

- たな卸資産は増加したが、売掛債権及びリース債権が大幅に減少したことにより営業CFは増加
- TCM株式売却及びユニキャリアへの出資・貸付により差引き89億円の投資活動収入
- 設備投資は日立建機を中心として237億円の支出

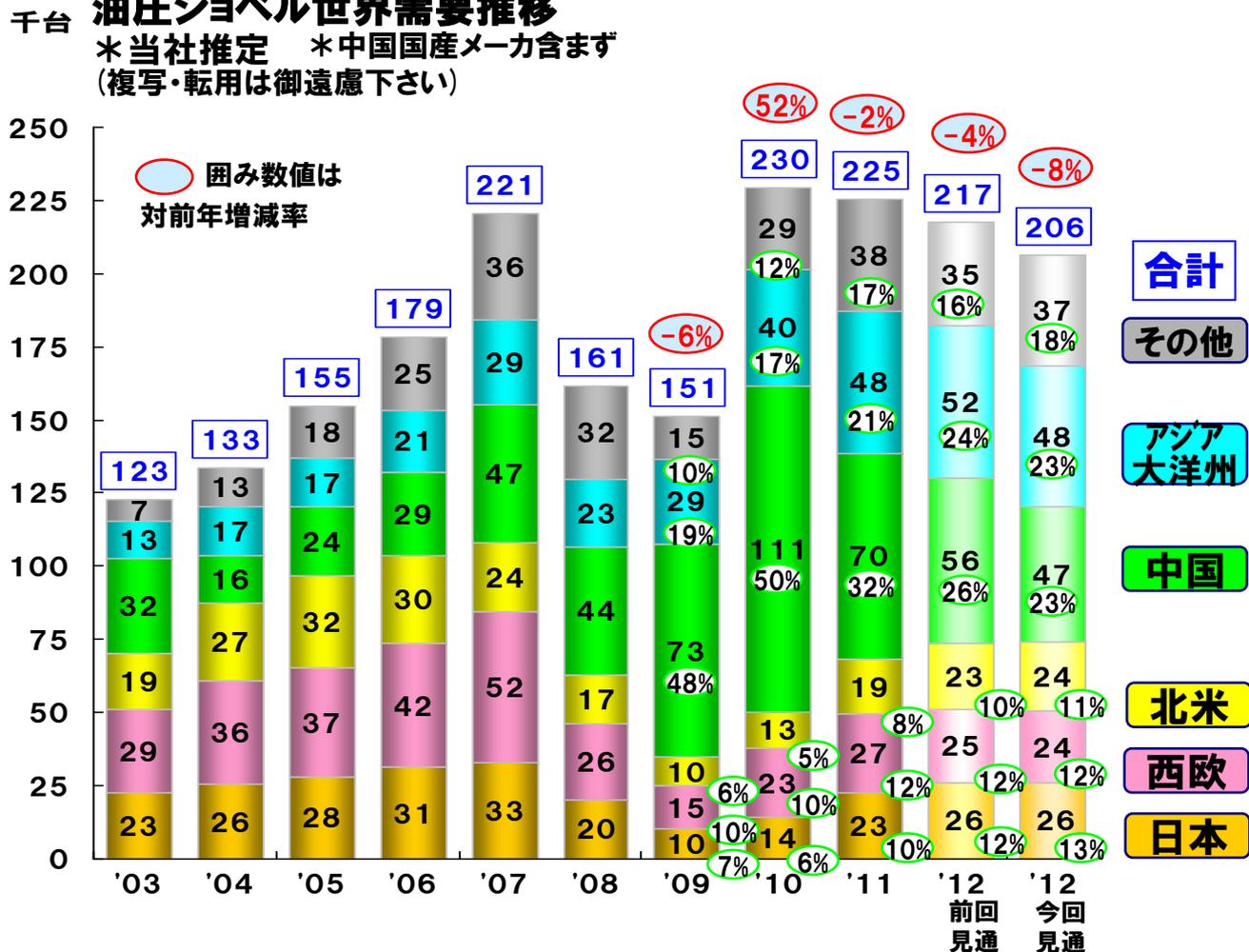
(単位:億円)

区 分	12年第2Q 累計		11年第2Q 累計		増減	
税金等調整前中間純損益		223		174		49
減価償却費	397	174	363	189	34	△15
受取手形及び売掛金の増減額		393		44		349
リース債権及びリース投資資産の増減額		120		42		78
たな卸資産の増減額		△389		△659		270
支払手形及び買掛金の増減額	99	△25	△311	262	410	△287
法人税等の支払額		△138		△92		△46
その他		△97		△67		△30
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>261</b>		<b>△107</b>		<b>368</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△114</b>		<b>△146</b>		<b>32</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>		<b>147</b>		<b>△253</b>		<b>400</b>
短期借入金の増減額		△84		219		△303
長期借入金の増減額	△171	△87	227	8	△398	△95
配当金の支払		△61		△52		△9
利息の支払等	△127	△66	△121	△69	△6	3
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△298</b>		<b>106</b>		<b>△404</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額		△35		△44		9
現金及び現金同等物の増減額		△185		△191		6
現金及び現金同等物期首残高		811		747		64
現金及び現金同等物期末残高		625		556		69

- 中国需要の反転時期を来年度と見て、前回見通しより9千台落とし、47千台(前年度比△34%)を見込む
- インド需要も停滞すると見て、前回見通しより3千台落とした13千台(同△13%)を見込む
- この結果、全世界需要は前回見通しに対し11千台、前年度に対し19千台の減少(同△8%)を見込む

## 油圧ショベル世界需要推移

\* 当社推定 \* 中国国産メーカー含まず  
(複写・転用は御遠慮下さい)



## 地域別需要対前年増減

	'11	'12前回	'12今回
日本	+58%	+15%	+15%
西欧	+14%	-6%	-9%
北米	+49%	+20%	+25%
中国	-37%	-20%	-34%
アジア・大洋州	+22%	+8%	0%
ロシア・東欧 CIS	+69%	+5%	+6%
アフリカ	+21%	-13%	+18%
中東	+50%	-27%	-20%
中南米	+16%	0%	+1%
その他	+37%	-9%	-2%
合計	-2%	-4%	-8%

- 売上高: 前回見通しに比し中国、マイニングを中心として800億円下方修正し、7,400億円 (前年比△9%)を見込む
- 営業利益: 売上高減少による利益の減少を売価アップ、原価低減等でカバーするも、前回見通しより160億円下方修正し、560億円(同2%)を見込む

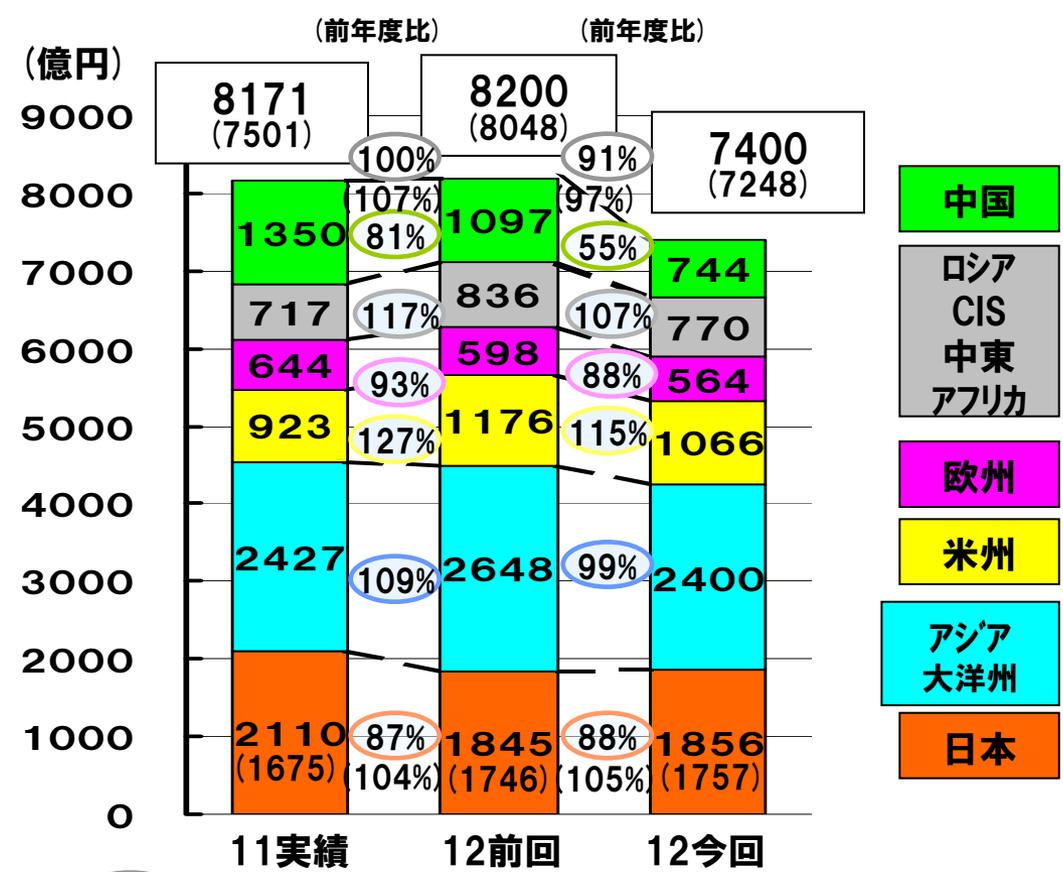
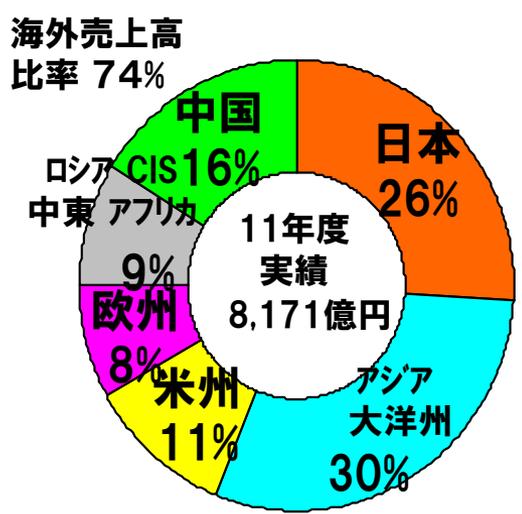
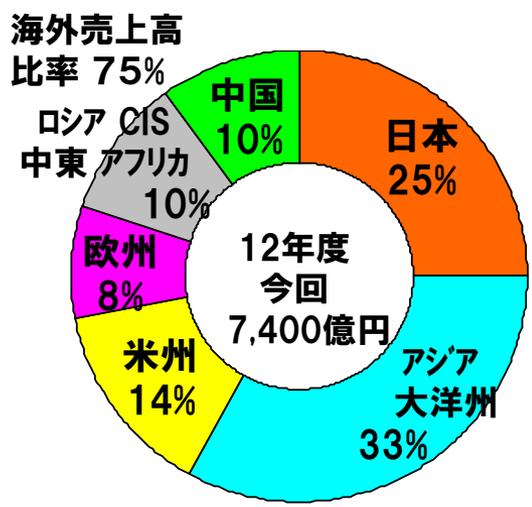
(単位: 億円)

	12年度 予想	11年度 決算	前年 増減率
売上高	(8,200) 7,400	8,171	△9%
営業利益	(720) 560	548	2%
経常利益	(620) 450	517	△13%
当期純利益	(400) 330	230	43%
為替	アメリカドル	78.76	78.85
	ユーロ	100.45	108.95
	中国元	12.42	12.41
1株当り配当金	40円	30円	10円

注. ( )内は12年7月対外発表値

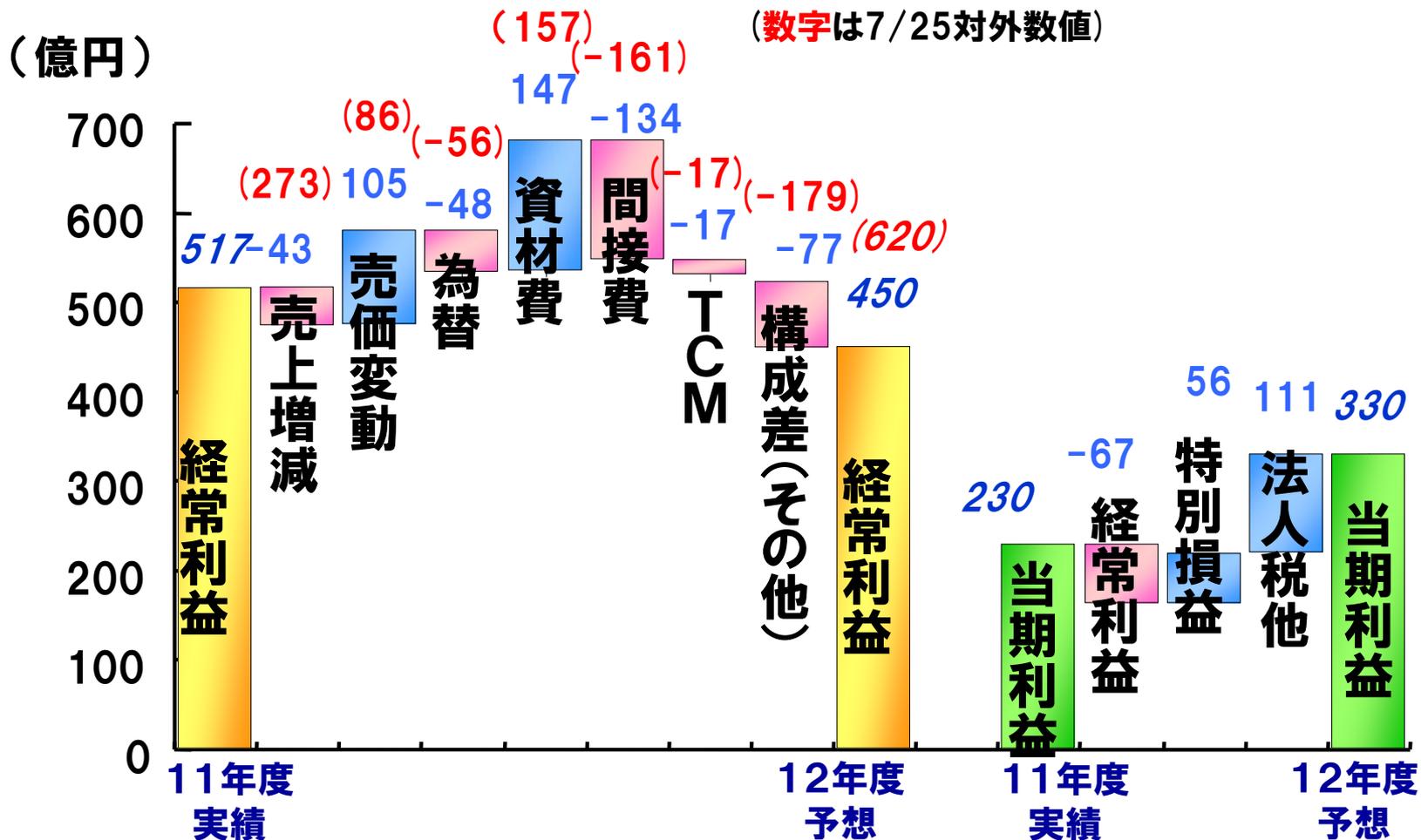
12年第3Q以降の為替レート	
(円/ドル)	78.00
(円/ユーロ)	100.00
(円/元)	12.30

- 中国は前回見通しより353億円下方修正し、744億円(前年比△45%)を見込む
- アジア・大洋州はマイニング機械を中心に前回見通しより248億円下方修正し、2,400億円(同△1%)を見込む



(注) % は対前年度伸び率、( ) はTCM影響を除く数値

- 前回見通しに対して、売上高減少による経常利益の減316億円があり、前回見通しを下方修正する
- 一方、米州・日本を中心としての売価アップ及び原価低減を図り利益改善を見込む



## END

---

### お問い合わせ

 日立建機株式会社

経営管理本部 広報戦略室

早水 紀雄

TEL : 03-3830-8065

FAX : 03-3830-8224

